

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	-	-	-	
	変わらない	スーパー（店長）	単価の動き		・客は必要な物以外は買わない傾向にある。また、各売場では単価の低い商品に集中している。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き		・来客数は増加傾向にあるが、たばこを目当てにした客が多いため、客単価は若干下降気味である。
		衣料品専門店（総括）	単価の動き		・来客数はそれほど減っていないが、1品単価や客単価は低下している。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き		・売上は前年を下回っているものの、11月は多少持ち直してきた。
		住関連専門店（店長）	お客様の様子		・季節商材や学習机など、必要度の高い商品は動いているが、その他の動きは悪い。耐久消費財は、購入の優先順位を後回しにされている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き		・東海北陸自動車道が開通し、ガソリン価格の低下も追い風となり、中京方面から自家用車で来る客が増加している。11月は休日が多かったため、ステーキ専門店では前年比108%の集客があった。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き		・11月の総売上は前年比104.8%、宿泊単価は同100.7%、宿泊人数は同104.1%である。
		通信会社（役員）	販売量の動き		・年末に向けてケーブルテレビ契約が年間で最も伸びる時期であるが、今年もほぼ前年同様の獲得契約数で推移している。
		競輪場（職員）	販売量の動き		・車券購買量に大きな変化はない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子		・来客数や問い合わせ客数は変わっていない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子		・金融機関の住宅ローン金利は変わらず、資材価格も横ばいで推移している。	
	やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き		・全体的に売上は不振である。組合会員店で倒産店舗も発生し、空店舗数も増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子		・買い控えの客が多く、特にメンズ衣料の売上が悪い。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き		・年末に向かってはいるが、来客数はここ数か月変わらず、客の財布のひもは固い。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き		・原油価格に落ち着きは見られるものの、先行きの不安感から、中間所得層の来店不振が続いている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き		・依然として買上点数が伸びない。特に衣料品は11月下旬に気温が冷え込んだにもかかわらず、動きが鈍い。一方でホームセンターの暖房用品は売れている。客は必要な物しか買わない傾向が顕著になっている。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き		・来客数は前年並みであるが、1回当たりの購入量が減少している。大根やキャベツを2分の1にするなど、必要な分だけ購入する客が多くなっている。
		スーパー（副店長）	単価の動き		・来客数、客単価は共に前年の97%で、3か月前に比べ悪化している。
コンビニ（経営者）		お客様の様子		・以前は連日外食していた単身赴任の客が、最近は毎日コンビニ弁当を購入し、家で食事をするという。客の懐具合は寂しくなっている。	
コンビニ（店長）		来客数の動き		・タスポの影響からか、売上は6月以降好調に推移していたが、今月に入り来客数に減少傾向が見られる。	
家電量販店（店長）		来客数の動き		・今まで効果のあった価格訴求による販促媒体も、以前のような集客効果が無くなっている。いわゆるウィンドウショッピングが見られなくなった。	
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き		・価格競争がますます厳しくなり、収支が悪化している。		
その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	来客数の動き		・既存店の来客数は前年比4.6%減、買上点数は同0.1点減となり、3か月前に比べ悪化傾向にある。		
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き		・来客数は下旬の3連休や25日の給料日以降も伸びなかった。師走を前に、客の財布のひもは固い。		

	スナック（経営者）	来客数の動き	・一部の客が貸切りにする日が何日があったため、売上は前年並みとなったが、個人客がますます減少している。終バスに乗るため、早めに切り上げる客も見られる。また製造業の客からは、仕事のキャンセルに加え、契約社員の整理やパートへの切替えなど、雇用関係悪化の話が聞かれた。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊客、レストラン客の低迷に加え、輸出企業からは円高の影響によるキャンセル等があり、売上は前年を下回った。
	旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・法人や組織団体では恒例的に行われている忘・新年会の予約状況が悪い。また、それぞれ別に行われていたものが、新年会だけに一本化される傾向が見られ、また宿泊を伴わない形態に変わりつつある。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新規契約件数が減少し、販売量も前年に比べ20%減となっている。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・携帯電話の新機種が登場し、販売増加につながったが、一方では他の機種の売行きが悪くなかったため、全体の販売台数では伸び悩んだ。
	パチンコ店（店員）	来客数の動き	・懐が寂しいせい、客の来店回数が減ってきている。
	その他レジャー施設（職員）	それ以外	・会員数の減少に伴い、売上が前年を下回っている。景気の悪化による新規入会者の減少が一因である。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・販売している化粧品のサイズを「大」から「小」へ買い換える客が何人か出始めた。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・土地、分譲住宅、注文住宅共に販売量が減っている。また他社の物件を見ても、ほとんど動いていない。
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・商店街の来客数は土・日・祭日でも伸びない。クリスマスセール抽選会の回数も前年に比べ減っている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・県内企業でも円高による業績悪化が深刻であり、この影響からか休日でも人出はまばらである。平日の天候の悪い日などは最悪の状態、通行量の激減が目につく。
	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・地域差もあるが、全体に販売量が落ちてきた。10月はまずまずだったが、11月中旬から急ブレーキが掛かってきた。
	一般小売店〔事務用品〕（営業担当）	お客様の様子	・年末が近づいても、取引先の設備投資は冷え込んでいる。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・ブーツ、コート、マフラー、手袋などのファッション性の高い冬商材の売上は、前年の7～8割にまで落ちている。忘年会、パーティー、新年会には出席しないという客が多く、財布のひもは固い。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は回復の兆しがないまま、前年割れが続いている。来店しても買上がなく、通路を歩くだけでウィンドウショッピングのような客がかなりの割合を占めている。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・婦人服の売上は前年の90%である。店頭では単品のニット、パンツなど低単価の商品が売れているが、コートなどの重衣料の動きが鈍い。一方、外商では上質のコートなど高額商品が良く売れており、二極化状態となっている。
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・食品、衣料を始めとしてあらゆる売場で客単価が落ちている。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・客の購入態度は極めて厳しい。
	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・週末ごとに悪天候になったため、来客数、売上共に前年に比べ5%減少した。月前半から通勤客の来店時間が遅くなり、客に質問すると「早出残業したくても仕事がない」という答えで、買上は缶コーヒーとたばこだけである。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・来客数が非常に減少している。客単価も5,000円から4,000～4,500円へ低下している。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・連日のマスコミ報道の影響を受け、客の消費態度は非常に慎重である。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数、成約率、商品単価はいずれも良くない。

	乗用車販売店 (経営者)	それ以外	・新車の販売台数が大幅に変動しているため、市場価格は値引き幅で拡大傾向に突き進んでいる。一方、高額中古車は動きが悪いだけでなく、価格も急落している。	
	乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・県内市場が極めて悪いなかで、販売状況は計画を大幅に下回っている。販売車種も小型化が顕著で売上単価も上がらず、販売台数と売上単価の両面から収益が減少している。	
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・高額車両中心の品ぞろえのため、消費者の買い控えにより大きな影響を受けている。県内の登録台数も前年比60%台で推移している。	
	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・販売量は前年の7割程度で推移しており、非常に厳しい状況である。	
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・金融不安の影響から消費者心理は更に冷え込み、車の販売台数は前年に比べ大幅に減少している。	
	自動車備品販売店 (従業員)	販売量の動き	・景気の先行き不安などから、商品が動かない。客は消費よりも貯蓄の意識が高くなっている。	
	その他専門店 [酒](経営者)	販売量の動き	・歳暮の時期が近づいているが、商品は全く動かず、客の財布のひもは極めて固い。	
	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊、レストラン、宴会の各部門共に売上は減少している。	
	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・企業で「出張」が見直されている。また団体旅行の参加者も大幅に減少し、「安・近・短」への更なる傾斜が見られる。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・客の節約傾向が依然として続いている。11月は2度の3連休など休みが多かったため、タクシー利用が減少した。週末も良くなかった。	
	タクシー運転手	販売量の動き	・客のタクシー利用回数が大幅に減少している。	
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数は前年に比べ2けた以上の減少である。企業・団体客では業績悪化や自粛ムードから旅行を控える動きがあり、前年比2～3割減少した。海外客は円高の影響で同4割減少している。	
	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・展示場や内見会場の来場者が激減している。	
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・客に潜在的需要はあると思われるが、景気を様子見しているため、動きが遅くなっている。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	
	やや良く なっている	-	-	
	変わらない	プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・住宅関連の市場が好転しない。1年前から同じ状況が続いている。
		精密機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・眼鏡の国内向け商品の受注量は落ちているが、総受注量では2、3か月前と同水準で推移している。また、商品寿命が極端に短くなっているため、新製品の開発コストが増えている。
		税理士(所長)	取引先の様子	・建設業では、最近公共工事の発注が軌道に乗っているため、生き残った会社の業績は一時的にせよ上向きである。ただ民間の設備投資は厳しい。
	やや悪く なっている	食料品製造業(企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・消費者の低価格志向がより鮮明になっている。当社の高額商品は2けたの落ち込みとなり、逆に低価格商品は2けたの伸びを示している。
		輸送業(配車担当)	取引先の様子	・関東、大阪方面で荷動きが悪くなっている。今後が更に心配である。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・世界的な金融危機により、取引先では工場設備の投資意欲が減退している。計画を延期した先もある。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・株価低迷に加え、投資信託の運用状況が芳しくなく、取引先の投資意欲が急速に減退している。
		新聞販売店[広告](従業員)	受注量や販売量の動き	・折込チラシのサイズと配布エリアの縮小が、数か月にわたり止まらない。
		司法書士	取引先の様子	・不動産取引では事業の破たんによる不動産処分の案件が多い。また商業登記の分野では解散、清算が多い。
	悪く なっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今まで受注を支えていた輸出商品が、原料高、円高、さらには海外市況の悪化により大幅な受注減となり、厳しさが増している。

		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・手がけているあらゆる分野で受注状況が悪い。
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内・国外共に受注が止まっている。また円高により、海外客からの受注キャンセルや延期が出ている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・電子部品関係の受注は更に減少した。12月はそれ以上に落ち込み、7、8月に比べ4、5割減少する。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・地方の建設業者の中には、新分野進出や企業合併などの生き残り策が難しいと判断し、廃業の道を真剣に模索している先も見られる。
		建設業（総務担当）	それ以外	・発注者の業績見通しが不透明なため、設備投資計画が先送りになるケースが見られ、工事受注予定がずれ込んできている。
		輸送業（配車担当）	受注価格や販売価格の動き	・金融危機による産業界の冷え込みから、11月後半から輸送量はますます減少している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数は前年度と変わらない。内定の取消しは聞いていない。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣社員の契約終了及び中途解約の申出が出始めている。派遣労働者へのフォローも厳しい状況にある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・単発の求人はあるが、長期間の求人は前年に比べかなり少なくなってきた。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・派遣社員の求人減少が特に目立つ。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の出稿量は前年の7割を下回った。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は4月以降、前年を下回っており、減少幅も拡大してきている。情報通信業を除くすべての業種で減少が見られる。
	悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は減少傾向が数か月続いており、前年に比べかなり悪くなっている。
		民間職業紹介機関（経営者）	周辺企業の様子	・アルミ関連や工作機械メーカーでは仕事量の減少に伴い、直接部門に続いて間接部門においても、派遣の中途解約が発生した。
新聞社〔求人広告〕（担当者）		求人数の動き	・人員増加や欠員補充を行わない企業が目立ち、求人広告は医療関係、人材派遣を除き減少している。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・2～3か月前から求職者数が前年に比べ多くなっている。逆に求人数は前年比約2割減少している。	